



〒954-0052

見附市学校町2-7-9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail [mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp](mailto:mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp)

令和4年6月27日 NO.3

市役所通りの街路樹

「チャブチャブランド」

## 指導観 一考察 ②

学校教育課 課長補佐 関 拓也

教師であれば、「授業を参観する中で、多くの刺激や学びを得た（真似できないという気持ちでなく、やってみたい！という前向きな気持ちを得た）」という経験を、お持ちかと思えます。

数年前、ある社会科の公開授業を参観しました。この授業は「教師が教材を徹底的に研究していた」「個々の意見を否定せず、どうしてそう考えたのか、その根拠は何か問いかけ、引き出していた」「意見をまとめるための方法を丁寧に支援していた」ということが、明確な授業でした\*。このことから、教師が「見方、考え方を働かせるための手立て」を講じ、生徒にとって「学びがいのある価値の高い授業」であったと言えます。同時に、この授業から、日々の積み重ねを基にした、教師と生徒、または、生徒同士の豊かな関係性が垣間見え、私にとって、この授業は「素晴らしい時間を共有できた」と、強く心に残りました。

少し前になりますが、令和3年1月26日に中央教育審議会『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）』の中で、「2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿」として、目指す教職員の姿を下記のように示しています。

- ・環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けている。
- ・子ども一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている。
- ・子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えている。

先述の公開授業を指導した先生は、採用1校目の若い先生でした。答申による教職員の姿は、年齢や職種、キャリア等を問わない普遍的なことを私たちに示しています。子どもの学びを支えるための努力と、子どもの学びを伴走する教師でありたいと思う日々です。今年度も市内の先生方と子どもたちの姿から、私も多くの事を学びたいと思っています。

\*参考：『社会科教育』2018年7月号 P22～P23 明治図書

## 巻頭写真に寄せて ―チャプチャプランド

◇巻頭写真は、初夏のこの時期、市街地の中で一番のお気に入り場所である。街路樹が市役所通りに面して連なり、歩道よりも内側の見附小学校の敷地部分にも、多くの樹木が植えられている。この中央部の樹木が密集した所に浅い池がある。これは、隣接する図書館入口前の噴水(下写真)から湧き出した水が水路をつくり歩道に沿って流れ、この池に流れ込んでいる。木陰に数台のベンチが設置をされている。池の周りの木陰にあるベンチ



梅雨の時期は、少し歩くだけで汗ばんでしまうが、この水の流れを見ているだけで、涼しさが感じられ、汗が引いていくようだ。ここは、チャプチャプランドである。

◇平成5年に、見附小学校は新校舎が完成。そして、この年に、創立120周年記念式典が挙行され、翌春にグラウンド、プールとともに、このチャプチャプランドが整備をされたのである。



今、30年の時を経て、樹木が成長して小さな森ができ、深緑の葉の間を抜けた木洩れ日が、池の水面をキラキラと照らす。

昼の一時、ベンチに座り水面を眺めていたら、次のようなことを考えた。「週末になると、各地で起こる水難事故のニュースを聞く度に、切ない気持ちにさせられるが…、水深が10cm程度の水路や池で水遊びができたなら、危険もなく、周りの木々も含めて、低学年の生活科で楽しい活動ができるのではないかと」。



◇水路の管理は見附市が行っていて、水路には「はだしで、はいたらない」の立て看板が設置はしてあるが、ズックを履いての活動なら可能だろう。「朝顔や野菜を育てる」活動も大事にしたいが、この時期、『木陰での水遊び』も楽しい活動ができるのではないかと思う。人的な支援が必要にはなるが、いつも決まった教育活動を行うばかりでなく、新たな視点に立って活動を考えることが必要なのではないか。同校は秋に、「生活科・社会科の研究会」が行われるという。ぜひ、新しい視点での単元づくりを考えて欲しいものである。

水路の始まりの噴水

## コラム 「 絶景堪能…上八石山から中八石山の尾根を縦走する 」

◇大河ドラマ「鎌倉殿の13人」が楽しみで毎週見ている。主人公は鎌倉幕府を開いた源頼朝に使い、その後、執権となる北条義時である。現在までの放映は、頼朝を北条泰時と大江広元が両輪で支えている。私が注目する人物は、大江広元である。頼朝が自分を支える東国武士や兄弟を次々に滅ぼすのだが、この助言をしたのは大江広元である。

さて、この大江広元の子供が相模国の毛利の荘を領地に与えられ、以後、毛利氏を名乗り、子孫が越後の佐橋の荘を領地に与えられ、越後の毛利氏となる。柏崎市北条を居城としたが、子孫が周辺に様々な城を築き城主となった。以前に勤めた鯖石小学校の地名の鯖石は、この佐橋の荘からきているらしい(諸説あり)。

◇中鯖石の八石山の中腹にも毛利氏の城が築かれた。毎年6月の第一日曜日に「山開き・安全祈願」がその城址で行われる。今年は3年ぶりで開催をされ、参加をした。毛利氏ゆかりの寺の住職の読経で安全祈願が行われた。新緑に包まれた城址からの柏崎市内や日本海の眺めは最高だった。久しぶりに充実の時間が持てた。60名の参加者があり、世の中少しずつ日常が戻りつつあるように感じた。後一か月で夏休み、リフレッシュする計画を立ててはいかがだろうか。(こ)





## 4時から夢塾 「科学の世界にどっぷりつかり…楽しい…」

第1回「4時から夢塾」を5月31日(火)、県立教育センター指導主事の篠田英先生から『理科教育の充実に向けて～新学習指導要領を見据えて～』の演題で、以下のようなご指導を頂いた。

### 1 新学習指導要領で何が変わったか

総則に、**他者と協働して・情報を再構成・目的を再構築**の三つのキーワードがある。

○資質・能力の三つの柱

- 1 生きて働く知識・技能の習得
- 2 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
- 3 学びに人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養

○新しい「資質・能力」（これからの教員に求められるもの）

- (1) 自律的に学び続ける力
- (2) 新たな課題に対応できる力
- (3) 組織的・協働的に課題解決できる力

○目標から手段となった、新しい「見方・考え方」とは何か

- ・資質・能力を育成する過程で働かせる「物事をとらえる視点や考え方」のこと。
- ・各教科等を学ぶ本質的な意義や中核をなすもの。

### 2 主体的・対話的で深い学びとは

- ・三つの視点は、子どもの学びの過程としては一体として実現されるもの。

- ・授業改善の視点として、それぞれ固有の視点である。

① 主体的な学びには、自分で選択・決定させる場面を取り入れ、指示されて行う学習から脱却すること。

② 対話的な学びには、一人で完結させる授業構成にしないこと。わからないを他者に発信できる力の育成。

○誰との対話か？ ・目の前にいる相手・教材・自分等 → 色んな物に向き合う。

③ 深い学びには、見方や考え方を手段として使う学習を。

↑ 教師の力量・専門性がカギとなる。

○最初、自分の解答は誤っていたけど、周りと交流することで納得をして、考える力がついた。

◎理科の先生になったからには科学の世界にどっぷりつかり、先生方自身が『学びが楽しい』と再認識しましょう。

**〈参加者の声〉**・課題の設定、子どもたちへの言葉かけの例など、自分の目指す授業の姿を見せて頂いた。今までの授業を振って、すぐ実践していきたく思った。

- ・授業改善のポイント、課題設定のカギを意識する。過信せず、謙虚に素直な姿勢で。
- ・実験を「やってみよう」と子どもたちに思わせることが大切だと、改めて思った。
- ・時代は変わるから「教え方もメンテナンスだ」ということを聞いて良かった。
- ・主体的・対話的で深い学びを具体的に説明して頂き、自分の授業と照らして考えた。
- ・主体性を伸ばすために「生徒自身に選択・決定をさせる場面を取り入れる」という言葉が、スッと自分の中に入った。新しい視点として授業を見直していきたく。



篠田 英 先生



## 4時から夢塾 「個人的不登校哲学論」

第2回「4時から夢塾」を6月9日(木)、長岡市のキャッツこどもクリニック院長の磯部賢論先生から「こどもの心の健康についてー小児科医・臨床心理士の立場からー」の演題で、ご指導を頂いた。ポイントのみを箇条書きで紹介する。

(※この頁のみ、講師の使用する「こども」の表記をする。)

### 1 「助けてください」「死にたい」くらい緊張しています

- ・こどもと関わるチャンスととらえる。こどもとしっかり対応できるチャンスである。
  - ・「死にたい」と気軽に言える環境づくりが大切。自殺予防になる。所属感がとても大切。
  - ・自殺の高校女子が増加。2020年は前年比の2倍。コロナ禍でOD・自傷行為が増加。
- なぜリストカット(以下「リスカ」)か。→不安感情を軽減させるため。
- ・女子中高生の12.1%。親は気付かない。気付くのは1/30。自傷行為=自殺ではない。
  - ・自分は裏切らない。大人や他人は裏切る。→手首を切る⇒死にたいといえる環境づくりを。
  - ・リスカは脳内麻薬。手の痛みは心の痛みを忘れさせる鎮痛効果。一時しのぎでしかない。
  - ・リスカで死なないが寿命は短い。援助希求の出せる人は長生き。
  - ・決め付けたり上から目線の先生、説教をする先生は嫌いな先生。
  - ・提案とお願いのできる先生。気軽に話せる先生になって話を聞く。
- 援助の原則；肯定的側面を共感。他には内緒。じっくり話を聞く。
- 所属感と援助希求；孤立をさせない、信頼たる支援者になる。

磯部 賢論 先生



### 2 コロナは心を豊かにするチャンス

- ・コロナは心にくる。心がやられる⇒日常を取り戻す努力をする。
  - ・ストレスを耐える人。分かってもらえず、不安の嵐の中にいる。
- ⇒「頑張っているね。よく耐えているね。」と評価をすることが大事。
- 子育ての基本；ほめ伸ばし。丁寧にしつけ、ほめて待つこと。
- ・保護者との関わり；保護者と膝を突き合わせるのではなく、肩を寄せ合いこどもを見守る。
  - ・いじめは絶対に許されない。目を光らせて、本気でいじめの場をなくす努力をすること。
  - ・いじめられているこどもに、「あなたは悪くない！」と強く宣言をすること。
  - ・いじめの場：トイレ、下校時、SNS⇒大人の目の届かない所でいじめは起きる。
- 良い教師は援助希求力があり、少数派のこどもに寄り添える。弱者の視点に立てる。
- ・中学生は語らない。黙っていても、一緒の空間にいることがとても大切である。



**<参加者の声>** ・「所属感」と「援助希求」の二つのキーワードを大切にしたいと思う。

- ・大事な言葉をぎゅっと凝縮して教えて頂いた。家で、資料をじっくり読んでみたい。
- ・不登校傾向の生徒と信頼関係をつくろうとしているが、なかなか難しい状況である。お話を聞き、今後も本人に寄り添って見守り、「助けて」と言える関係を大切にしていきたい。
- ・不登校や心の問題を抱えるこどもが増えている。今後も心の問題の専門家の話を聞きたい。
- ・ほめ伸ばすこと。丁寧にしつけることの大切さを心に留め、ほめ伸ばしの声かけをしたい。
- ・頑張る生徒に目が向きがちだが、保健室では耐える生徒に目を向けて理解してあげたい。



6月

# 科学教育部



《今月の1枚》

スズメの大喧嘩(見附市内の路上)

## 6月の単元別研修会から

「小3～6 天体を学ぶ」の単元別研修会を6月18日(木)に教育センター実験室で行いました。

この日は朝から曇っていましたが、14時からしだいに太陽が顔を出すようになりました。教育センター屋上からソーラースコープ(貸出OK)を用いて太陽を実際に観察しました。太陽の動きを確認できました。この他にも、ICT教材の活用サイトを紹介しました。国際宇宙ステーション(ISS)からの地球のライブ映像を児童・生徒に見せてはいかがでしょうか。研修会で紹介したワークシートやICT教材の活用サイトは、「00\_市教委/06\_理科教育センター/00\_研修資料公開/01\_学年単元別研修会/小学校「天体」」でも紹介しています。ご覧になり、ご活用ください。

6月から11月の主な天文現象を紹介します。

| 月日        | 主な天文現象                   | 備考  |
|-----------|--------------------------|---|
| 6月～9月     | パンスタース彗星の接近              | 長期間にわたり、宵の南の空で見え続けます。双眼鏡でも楽しめそうです。  |
| 6月19日～27日 | 水星、金星、火星、木星、土星と月の接近      | 明け方の空に5惑星が集合しており、これらの惑星に順に月が接近します。  |
| 7月14日     | スーパームーン(1年のうちでもっとも大きな満月) | ミニマムムーン(1年のうちで最も小さな満月)に比べると直径は1.14倍大きく、明るさも1.3倍も明るくなります。  |
| 7月21日～22日 | 火星食                      | 24年ぶりに夜間に観測できます。  |
| 8月13日     | ペルセウス座流星群が極大             | 満月のため、観測条件は良くない。  |
| 9月10日     | 中秋の名月(十五夜)               |   |
| 10月22日    | オリオン座流星群が極大              | 明るい流星は少ないですが、出現する流星数は多いです。  |
| 11月8日     | 皆既月食<br>天王星食             | 満月がしだいに欠けていき、赤銅色に輝く神秘的な光景に注目。皆既月食の間、空にはたくさんの星が輝き、そして天王星が月に隠されるといふ珍しい現象です。 <u>なお、当日は教育センターで天体観察会を行います。</u> |

※研修会の申込については終了していますが、新たな参加も大歓迎です。希望がありましたら教育センターまで電話、メールもしくはC4thの「個人連絡」で申込をしてください。

要請研修会も受け付けております～こんなときに活用してください～

- 研修会に参加したいけれど日程の都合がつかない。
- 理科を初めてもしくは、経験がない学年で不安がある。
- 実験の方法がわからない、予備実験でうまくいかない。

教育センター 科学教育部 担当:早田・長谷  
 TEL・FAX 62-2343  
 E-mail [mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp](mailto:mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp)  
 C4thの個人連絡  
 「教育委員会 教育センター」

# 科学の公園

## 日暈を見附市で観測しました。

5月26日、見附市で日暈が観測できました。  
暈（かさ、halo、英語読み：ヘイロウ）とは太陽や月に薄い雲がかかった際にその周囲に光の輪が現れる大気光学現象のことです。

特に太陽の周りに現れたものは日暈（ひがさ、にちうん）、月の周りに現れたものは月暈（つきがさ、げつうん）といいます。虹のようにも見えることから白虹（はっこう、しろにじ）ともいいます。

### 発生理由

日暈は発生する原因は、氷の粒による、光の屈折です。

巻層雲という高い場所に発生する雲があるときに、日暈は発生しやすくなります。巻層雲は氷の粒で構成されたもので、薄いベールのようなことから、薄雲とも言われます。

この巻層雲が、太陽を覆うとき、光が氷の粒にぶつかることで、光が屈折や反射し、日暈が発生するのです。太陽の光は、白に近い色に見えますが、実は様々な色を含んでいます。これが氷の結晶を通すと、屈折して様々な色に分離することから、日暈は虹色に見えるのです。



5月26日 11時50分  
見附市本所1丁目より撮影

### 日暈にまつわる国内のお話

日暈が目撃されると、雨が降る前触れだと言われています。日暈の原因である、巻層雲が出現することは、低気圧や前線が接近している証拠であり、雨が降る確率が高いそうです。

もし、日暈を見たら、その美しさに見惚れてしまうだけでなく、干したお洗濯のことも考えた方がいいかもしれません。

### 日傘にまつわる海外のお話

日暈は中国で兵乱の兆しと言われていた！

日暈について、興味深い話があります。古代の中国では、白虹が太陽を貫くと、戦争が起こって平和が乱れることの兆しと言われていました。中国の歴史書である、史記ではこんなエピソードがあります。

紀元前227年、後の始皇帝となる秦王は、強大な軍事力を誇り、領土拡張を目指していました。人々は秦王に恐れを抱き、弱小国の燕も、国を滅ぼされてしまうのでは、と恐怖を抱いていました。

そこで燕は、荊軻（けいか）という暗殺者を放ちます。荊軻が秦王暗殺を謀った際、武器を象徴する白い虹が、王を象徴する日輪を貫いたことから、暗殺は成功したと信じられました。しかし、荊軻は暗殺の一手前まで迫りましたが、失敗して斬り殺されてしまいます。

このようなエピソードがあるほど、日暈は大昔から、珍しい現象として認識されていました。

（参考文献）<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/faq/faq13.html>  
<https://ecotopia.earth/article-3835/>